

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和5年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立産業会館
指定管理者名	公益財団法人 相模原市産業振興財団
指定期間	令和元年度から令和5年度まで
施設設置条例	相模原市立産業会館条例
施設の設置目的	産業を振興し、及び市民の産業に対する理解を深める場を提供することにより、市内産業の健全な発展を図り、もって活気とにぎわいのある豊かな都市の創造に寄与すること（相模原市立産業会館条例第2条）
施設概要	相模原市中央区中央3丁目12番1号 敷地面積1,369.30㎡ 建築面積1,038.20㎡ 延床面積4,836.73㎡ 1階 多目的ホール 2階 展示室 3階 大研修室、小研修室 4階 特別会議室（国際商談室）、懇談室（中研修室） 地下1階 OA研修室、多目的室
施設所管課	産業支援課

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	103,370	98,915	83,111	30,508	51,051	70,641	76,455
利用料金合計（円）	22,619,349	23,426,749	18,406,126	12,052,942	15,313,461	20,221,803	20,787,217

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	評価基準に従い数値上はB評価とせざるを得ないが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により落ち込んだ利用率を以前の水準まで改善できたことは評価できる。

指標1

指標名（単位）	産業会館施設利用率
指標式と指標の説明	利用率＝利用日（区分）数/利用可能日（区分）数 1日3区分（午前・午後・夜間）で数値は区分で算出 ※施設休止期間は含まない

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（単位）	42.5%	43.0%	43.5%	44.0%	44.5%	45.0%	45.5%
実績値（単位）	44.1%	46.0%	42.3%	40.1%	38.5%	41.1%	43.0%
達成度（%）	103.8%	107.0%	97.2%	91.1%	86.5%	91.3%	94.5%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	利用者ニーズに合わせた機器提供による利用促進や施設の快適性や機能性向上に寄与する利益還元、産業に関する情報の発信、産業会館の設置目的に即した自主事業を積極的に展開しており高く評価できる。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
該当なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
リモート会議の補助機器提供による会館利用促進事業	随時	リモート会議に対応したスピーカー・マイク・Webカメラの無料での提供を行った。 4団体10回	◎
来館者へ向けたモニターでの情報提供事業	通年	ロビーに設置したモニターから相模原市のPRを動画で、相模原市、財団・産業会館のイベント・事業案内をパワーポイントで、開館時間中情報提供を行った。 ・動画5本、パワーポイント10本	◎
利益還元による施設快適化事業	随時	節電効果、暑熱対策や機能性の向上を目的として、次の事業を実施した。 ・LED照明へ更新(展示室・地下多目的室・大研修室等) ・軽量机等の購入(特別会議室)	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
OA研修室活用事業(無料PC教室)	通年	小学校でのプログラミング教育の実施を踏まえ、プログラミング的思考への一助を目的に、小中学生を中心として大人まで幅広い年齢層に対応した講座を用意した。開催講座数91 ①スマホ体験 9人 ②プログラミング体験教室(年中～小学2年) 11人 ③プログラミング教室(小学3年～中学) 22人 ④パソコン体験教室 56人 ⑤18歳からのプログラミング体験(新規) 49人	◎
イベント・コンベンション等産業事業振興利用促進事業	通年	企業等のイベント・コンベンション利用等の促進のため全館利用のパッケージ料金を設定し、HP、チラシに掲載し、継続して利用促進を図った。 令和5年度は利用なし	△
市民文化活動推進事業	通年	幼稚園等の演芸会、音楽・舞踏の発表会など音を出す利用区分として、多目的ホールと2階及び3階を同時に利用した場合のパッケージ料金を設定し、利用者サービスの向上や利用の促進を図った。 利用件数:4件	◎
トライアル発注認定製品展示事業	通年	相模原市トライアル発注認定製品の紹介として、1階ロビーの壁面に掲示したシートに代え、モニターを設置して、令和3年度7製品をパワーポイントで紹介、令和4年度9製品と令和5年度6製品を動画で紹介し、製品カタログをラックに配架して周知を図るなど、認定製品の販路の開拓及び拡大を支援している。	◎
財団事業の会館活用事業	通年	産業振興財団が主催する「コミュニティビジネス推進事業」(8回)、「産業人材の確保・育成事業」(2回)、「女性起業家支援事業」(4回)・「事業承継セミナー」・「SOHO支援事業」(各1回)、を実施することで、利用機会の提供と産業支援・振興の情報、学習機会の提供及び産業会館の周知を進めた。	◎
自動販売機活用事業	通年	館内に設置する自動販売機の売上による手数料収入を得た。 設置数 5社5台 手数料総額 396千円	◎
産業会館利用促進事業	随時、通年	産業会館まつり(プログラミングコンテストと親子ITエンジニア体験)を8月26・27日に開催し、市民周知、利用促進に務めた。 参加者はコンテスト125名、教室30組60名。 1階ロビー壁面部分にモニターによる情報提供や映像に関連するパンフレット等を配架した情報コーナーを設置し、相模原市、当財団や産業会館などの情報提供、利用促進を行った。	◎

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	これまでの実績と同じく満足度は極めて高く、サービスレベルが十分に維持されていると評価できる。今後も、より多くの利用者の意見を取り入れ、満足度の向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者に対し「お客さまアンケート」を実施 ※施設利用団体ごとのアンケート 時期：令和5年11月1日～30日 サンプル数：69件
目標値の基準	「お客さまアンケート」の満足度等経年比較を行う項目の内施設全体的な満足度を問う設問（7項目）について、肯定的評価数を総サンプル数－無回答等で除した値（%）で算出 *目標値は令和2年度から設定

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)				98.0%	98.5%	99.0%	99.0%
実績値 (%)			97.5%	98.7%	98.4%	99.5%	99.3%
達成度 (%)				100.7%	99.9%	100.5%	100.3%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	産業会館1階受付及び各室に意見箱を設置して、随時利用者の意見や要望等を受付易くする体制をとっている。 令和5年度 1件

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	決算において収入が支出を上回っているが、公認会計士である選考委員の意見として、団体本体の営業利益・営業利益率が継続的なマイナスになっていないかどうか次年度以降注視する必要があり、若干の懸念が報告されていることを踏まえ、A評価とした。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)		91,348	97,983	104,287
指定管理料		67,481	67,554	68,047
利用料金収入		15,313	20,221	20,787
その他の収入		8,554	10,208	15,453
支出 (b)		85,730	97,061	101,241
人件費		19,848	20,234	21,050
本社管理経費		0	0	0
その他の支出		65,882	76,827	80,191
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		5,618	922	3,046
自主事業収入 (d)		328	462	396
自主事業支出 (e)		208	259	162
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		120	203	234
全体収支 [(c)+(f)]		5,738	1,125	3,280
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックシートに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和6年3月29日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	現在改修作業中で、取組状況は最終形。

9 指定管理者の自己評価

会館の管理運営業務については、お客さまアンケートの満足度で目標値を超えた良い評価を得ており、確実、的確な対応がとれていると考えている。令和5年度での利益還元の事業として、大研修室等のLED照明への交換修繕や軽量机等の備品更新などを実施し、施設の快適化など指定管理者として必要、可能な対応が進んだと考えている。自主事業等では、産業会館まつりとしてプログラミングコンテストや親子でのプログラミング体験教室が定着してきており、引き続き、会館の一般市民への周知等を進めていきたい。会館の利用率・収納額は指定管理期間中では最良の数字とはなかったが、目標値には及んでおらず、次期指定管理期間の最重点事項として、ホームページの改修等を講じて利用率の向上に注力していく。

10 所管課意見

利益還元による照明のLED化や、利用者ニーズを汲み取った企画提案事業を行い利用促進を図るなど積極的に施設管理運営に取り組んだことは高く評価できる。また、成果指標である施設利用率について、一時は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少したものの、令和元年度の水準まで回復できたことも評価できる。来年度以降も引き続き指定管理者であるため、より一層の創意工夫によって利用促進を図っていただきたい。

11 選考委員会意見

- ・アンケートの実施時期については比較的使用が多い6月に実施するなど、11月以外の実施も検討したほうがよい。
- ・アンケートにおいて洋式トイレが少ないとの意見があったが、学校も洋式を増やしてきているので改修を検討いただきたい。
- ・意見箱の設置はよい取り組みであるが、実績が1件と少なかったため、よりPRが必要である。
- ・ウェブアクセシビリティの7つの取組項目については、行政がホームページを作成する上で遵守しなければならない事項となる。指定管理者においても同様であるので、対応できていない項目については早急に対応を要する。

総合評価（自動判定）

A

(75/100)

